

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第4回上尾市産業振興会議
開 催 日 時	令和8年2月17日(火) 10:00~12:00
開 催 場 所	上尾市プラザ22 会議室
議長(委員長・会長)氏名	河藤 佳彦
出席者(委員)氏名	河藤 佳彦、飯田 裕之、大澤 哲也、大木 保司、神田 明美、 鈴木 啓太、五十嵐 康行、安藤 由美、松本 弘子、 市倉 育江、幸物 正晃、坂田 直人、藤田 悟、 〈オブザーバー〉 栗原 邦夫
欠席者(委員)氏名	松本 猛、松村 稔、井上 克典、高野 正則
事務局(庶務担当)	環境経済部 次長 田中、商工課長 吉永、農政課副主幹 仲間、商工課副主幹 今村、 商工課主査 加藤 商工課主任 小林
会 議 事 項	1 開 会 2 議 題 (1) 第2次上尾市産業振興ビジョンについて (2) 令和7~8年度の産業振興施策について (3) 令和8年度提言書のアウトラインについて (4) その他 3 閉 会
会 議 資 料	別紙のとおり
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和8年5月29日</p> <p style="text-align: right;">会長の署名 <u>河藤佳彦</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>大澤哲也</u></p>	

議 事 の 経 過

事務局 (商工課 吉永)	<p>1 開会</p> <p>令和7年度第4回上尾市産業振興会議を開会します。本日の司会を務めます上尾市商工課の吉永でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の進行につきましては、事前に委員の皆様にお配りいたしました次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>事前に送付した資料は5点ございます。「会議次第」、「資料1 令和7～8年度の産業振興施策について」、「資料2 令和8年度提言書のアウトライン」、「資料3 市民コメント結果」、最後に「資料4 第2次上尾市産業振興ビジョン」以上の5点でございます。過不足などございませんでしょうか。なお、本日机上に、「会議次第の改定版」、「資料1の改訂版」、「第2次上尾市産業振興ビジョン修正箇所補足資料」、「草加リノベーションまちづくり」、「第2次上尾市産業振興ビジョンの表紙案と紙面案」の5点を配布しております。</p> <p>事前にお配りいたしました「会議次第」と「資料1 令和7～8年度の産業振興施策について」につきまして、内容を更新しておりますので、本日配布いたしました資料と差し替えをお願いいたします。</p> <p>変更点でございますが、「会議次第」につきましては、議題の進行について、当初、令和7年度～令和8年度の産業振興施策及び令和8年度提言書のアウトラインについて協議し、その後に新ビジョンについての協議を予定しておりましたが、新ビジョンと来年度以降の施策は関連性がありますことから、まずは新ビジョンの内容について検討、把握した上で、今後の施策の方向性について評議したいと存じます。「資料1 令和7～8年度の産業振興施策について」につきましては、1ページの令和7年度の中小企業サポートセンターの実績、2ページのARスタンプラリー事業内容を最新の情報に更新しております。</p> <p>それでは、これより議題に入ります。</p> <p>本日の会議概要でございますが、新ビジョンにつきましては、前回会議にて皆様よりいただきましたご意見と、昨年12月22日から今年1月21日にかけて実施した市民コメントの結果を踏まえ、一部内容を変更しておりますので、事務局よりご説明いたします。</p> <p>新ビジョンの策定に係る協議につきましては、本日の会議が最後となります。</p> <p>今年度実施している産業振興施策の進行状況に加え、前回お示しした令和7年度の提言に基づき予算要求した産業振興施策について、あらためて内容をお聞きいただいた上で、令和8年度のアウトラインについて、委員の皆様からご意見をいただければと思います。</p>
--------------	--

	<p>本日の会議でございますが、本会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がございましたので、有効に成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは規定に基づき、河藤会長に議事の進行をお願いいたします。本会議につきましては、審議会の会議の公開に関する指針に従いまして、公開ということで採決されておりますことをご報告させていただきます。</p>
会長	<p>それではここから進行を務めさせていただきます。</p> <p>はじめに、会議の公開について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 (商工課 吉永)	<p>本会議につきましては、審議会の公開ということで採決をいただいておりますことを報告させていただきます。</p>
会長	<p>それでは事務局に確認します。本日、傍聴を希望されている方はいらっしゃいますか。</p>
事務局 (商工課 吉永)	<p>本日、傍聴希望者が1名いらっしゃいます。</p>
会長	<p>それでは、事務局は傍聴者を入場させてください。</p> <p>～傍聴者入場～</p>
会長	<p>傍聴者の方は、お配りした傍聴に当たっての注意事項をよくお読みいただき、遵守いただきますようお願いいたします。また傍聴に当たっての注意事項に反する行為をした場合は、退場していただくことになる場合がございますので、ご留意いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>次に、本日の議事の正確性を証するため、議事録への署名を委員にお願いします。議事録署名人につきましては、大澤委員にお願いしたいと存じます。大澤委員には後日事務局より議事録をお送りいたしますので、内容をご確認のうえご署名をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>議題1、「第2次上尾市産業振興ビジョンについて」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局 (商工課 今村)	<p>議題1、第2次上尾市産業振興ビジョンについて、本日は4点、ご報告とご説明をさせていただきます。</p>

1点目は市民コメントの結果報告でございます。令和7年12月22日から令和8年1月21日まで、ビジョン案に対する市民コメントを実施いたしました。4名からご意見があり、資料3にまとめさせていただいております。2点目は市民コメントと前回の会議におきまして委員の皆様からの頂戴したご意見を踏まえて修正したビジョン案の説明をさせていただきます。3点目はビジョンの表紙案と紙面案について、4点目はビジョン策定に係る今後のスケジュールについてご説明いたします。

それでは、まず1点目、市民コメントの結果報告についてでございます。資料3をご覧ください。実施期間、対象者、実施方法、設置場所につきましては記載のとおりでございます。結果でございますが、4名からの提出があり、窓口での提出が2名、郵送が2名でございました。また、意見の種別は、新ビジョン第2章の「本市を取り巻く現状と課題」に関するご意見が1件。第5章の「施策」に対するご意見が4件ございました。意見の詳細につきましては資料の中段以降の一覧となります。

個別の意見概要、意見に対する市の考え方の説明につきましては割愛させていただきますが、総じて、ビジョンの各施策について、より具体の施策についての位置付けや提示を求めるとのご意見であったと認識しております。

なお、市民コメントのご意見に対するビジョン(案)の修正といたしましては、一覧の一番下でございますNo.4に反映しております。市民コメントについては以上となります。

続きまして、2点目のビジョンの全体的な修正箇所となります。資料4の新ビジョンと合わせまして、本日、説明用の補足資料として一覧をご用意しております。修正は6つございますので、一覧を基にご説明いたします。なお、うち5つは前回会議からのご意見を踏まえた修正、1つは市民コメントを受けての修正となっております。

1つ目でございます。ビジョンの25ページでございます第3章「体系骨子の立案」の中で、当初案では、目指すべき姿(将来像)について、「仮説」という言葉を加え表示しておりました。立案に至る一連の流れの中で「仮設」という表現で目指すべき姿(方向性)を設定したため、そのまま表記しておりましたが、一般の方が見た時に分かりにくいというご意見をいただきまして、「仮説」という表現を削除したものでございます。

また、この「仮説」に関する修正に関しまして、新ビジョンでは、まず仮説として立てた基本方針が提示され、その後、体系骨子の中でこの基本方針が提示されています。最終的な基本方針の決定の流れについて、つなぎの説明が不足しておりますので、完成版を作成するまでに、つなぎの説明を追加させていただきたいと考えております。

<p>会長</p>	<p>補足いたします。25 ページをご覧くださいますと、目指すべき将来像の基本方針が三つ提示されております。これに基づいてSWOT 分析を行い実証的に検証し、各基本方針における重要な点が精査され、結果として30 ページの体系における基本方針につながったものであると思います。</p>
<p>事務局（商工課 今村）</p>	<p>次に、2 つ目でございます。33 ページ、基本施策【生活と産業の連動】に係る修正となります。下段の3 カ所になりますが、経済循環に係る内容となっております。農業と飲食店のマッチングや商工業における地域内での経済循環の重要性についてご意見がございましたことから、一文を追記したものでございます。</p> <p>3 つ目は、34 ページ、主要施策【事業承継支援】に係る修正となります。事業承継に関する支援について、産業構造を成長力の低い産業から高い産業へ、また、成長力の高い産業へシフトさせる重要性についてご意見をいただきました。記載のとおり追加したものでございます。</p> <p>4 つ目は、44 ページの基本施策【情報発信の強化】に係る修正でございます。「コト消費」におけるストーリー性と情報発信力の重要性についてご意見をいただいたことを受けまして、一文を追記したものでございます。</p> <p>続いて、5 つ目は51 ページになります。具体の施策の絞り込みにつきましては、前回会議で委員の皆様からもご意見があり、市民コメントでも具体の施策の明記に触れる意見がございましたが、新ビジョンでは、個別の施策を明記はせず、これまでの本市の取組みと同様に、当会議での協議を踏まえ取りまとめる提言書によって、時勢に沿った施策を展開していくという流れを継続してまいりたいと考えております。そのため、新ビジョンの第6章「ビジョン実現に向けた推進体制」の説明の中で、当会議にて時勢に沿った具体の施策を随時検討していく旨をあらためて追記いたしました。効果的な施策の実現のために、当会議における協議・検討をベースとし、毎年提言として取りまとめてまいりますので、委員の皆様におかれましてはご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>最後の6 つ目は48 ページになります。先ほどご説明いたしました市民コメントからのご意見を踏まえ修正した箇所となります。「市外からの集客を見込むことで、交流による新たなにぎわいが生まれるのではないか」というご意見を踏まえまして、基本施策の【魅力創出イベントの展開】において、「市外来訪者を呼び込む仕掛けづくりを考慮した施策の立案」という一文を追記いたしました。</p> <p>修正箇所につきましては、以上となります。</p>
<p>会長</p>	<p>今ご説明いただいたところを踏まえて、この新ビジョン全体についてのご意見いただけたらと思います。</p>

安藤委員	<p>51 ページのビジョンの実現に向けた推進体制のデザインですが、上尾市や金融機関、産業支援機関が協力連携して市内事業者を經由し、その後市民に豊かな市民生活のためのサービスが届くという一方通行の流れがありますが、市民としては盛り上げるために、この仲間に入れてほしいと思います。双方向の矢印として市民も循環の中に入れてほしいと思いました。</p>
会長	<p>非常に貴重なご指摘だと思います。事務局はこのご意見を踏まえてご検討いただけますか。</p>
事務局 (商工課 今村)	<p>表現として、デザインの中に加えたいと思います。</p>
会長	<p>他にご意見が無いようでしたら、事務局から続きの説明をお願いします。</p>
事務局 (商工課 今村)	<p>次に、3 点目になります。先ほどご議論いただきました内容を踏まえた表紙でございますが、新ビジョンの目指すべき姿であります「豊かな暮らしと産業の持続的発展を支える活力のあるまち」をイメージして作成しております。また、暮らしと産業が一体となり、まちを支えることが伝わるようにイラストを用いて表現したいと考え、デザインを検討しております。</p> <p>上段はオフィス街、2 段目にはスポーツ施設や工場、3 段目には飲食店や住宅、下段は農業や公園、イベントを配置しております。</p> <p>次に 2 枚目になります。A3 の紙面案をご覧ください。文字の読みやすさや、グラフの見やすさを意識し、文字間や余白を調整しております。また、事業者だけではなく、市民の皆様にも興味を持って見ていただけるよう、全体的に温かみのある紙面になるようイメージしております。</p> <p>なお、デザインにつきましては、調整中でございますので、現在のデザインはベースとなるものでございます。表紙案・紙面案の説明は以上となります。</p> <p>最後に 4 点目のビジョン策定に係る今後のスケジュールについてでございます。本日の会議の結果をもちまして決定した内容を、今ご覧いただいたデザインに落とし込んでいきます。現在の内容に加える情報といたしましては、用語の解説、策定に至る経緯や本日までの当会議における検討の過程、策定に携わっていただきました委員の皆様や各関係者の皆様の名簿等となります。3 月下旬を目途として策定し、完成いたしましたら皆様へお渡しさせていただきます。</p> <p>議題 1 の説明は以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、今ご説明いただいた部分について、ご意見がございましたらお願いいたします。</p>

松本委員	表紙に何か上尾市と分かるようなものが 1 つでも入っていると、より特徴的になるのかなと思いました。
事務局 (商工課 今村)	検討いたします。
会長	それでは、議題 2、「令和 7～8 年度産業振興施策について」、事務局から説明をお願いいたします。
事務局 (商工課 今村)	<p>議題 2 について、説明させていただきます。資料 1 をご覧ください。</p> <p>今年度実施している産業振興施策の進捗状況と令和 8 年度当初予算案に計上させた施策について、ご説明を申し上げます。</p> <p>まず、「令和 7 年度に実施した事業者向け支援事業の実績」につきまして、①の「中小企業サポートセンター」でございますが、1 月末時点で専門家派遣実績は 238 件となっております。なお、同じ 1 月末時点におきまして、昨年度は 198 件ございましたので、相談件数は増加しております。実績の内訳を昨年度と比較しますと、「補助金申請を含む経営総合相談」、「販売促進相談」「創業相談」が増加しております。資料には記載しておりませんが、補助金申請については、特に国の補助金への相談が増加しており、物価高騰などによる厳しい経営環境を乗り切るため、事業再構築や生産性向上の必要性が出てきたこと、また、国がそれを支援するため補助金などの返済不要の資金提供を積極的に打ち出していることが相談増加の一因と考えられます。販売促進については、マーケティングや製品転換に関する相談が増えており、新たなチャレンジに積極的に取り組む事業者が増えてきていると考えられます。創業相談は依然として相談件数が伸びており、支援体制の必要性をあらためて感じているところでございます。</p> <p>続きまして、②の「SDGs 商品開発費補助金」、③の「DX 促進補助金」、④の「創業応援補助金」につきましては、予算枠に対して、SDGs は 2 件中 1 件、DX が 10 件中 6 件、創業応援が 8 件中 7 件の実績となっております。創業応援の実績はサポートセンターの相談件数の増加に比例し、昨年度の 3 件から 7 件に伸びております。</p> <p>⑤の「技能検定補助金」は昨年度より実施した事業でございますが、実績は 5 件となっております。</p> <p>⑥の「飲食店と農家のマッチング事業」でございますが、今年度は記載のとおり、多様なジャンルの店舗とのマッチングが成立し、地場農産物の活用が大きく進みました。</p> <p>⑦の「AR スタンプラリー事業」につきましては、上尾串ぎょうぎフェスやあげおイルミネーションと連携することで上尾駅、北上尾駅を中心として AR スポットを設置し、延べ 1,400 人のコンテンツの利用状況でございます。</p>

	<p>次の、⑧の「新規就農者経営支援補助金」から⑬の「農産物販売機管理運営事業」につきましては、農政課よりご説明申し上げます。</p> <p>～説明者交代～</p> <p>ご説明いたします。⑧の「新規就農者経営支援補助金」は、新規就業者の皆様を大切に育てていくための補助金でございます。18歳から59歳の新規就農者に対して、農業を軌道に乗せるため、月々5万円、計60万円を補助しております。</p> <p>⑨の「新規就農者農業機械等導入支援補助金」についても対象は同じとなりますが、主にトラクターについて、上限を100万円として、2分の1の補助を行ったものでございます。</p> <p>⑩の「農業者等経営改善相談業務」につきましては、主に農地を相続し、これから耕作していこうとする方に対して、学識経験者に指導していただくものです。今年度中に行う予定でございます。</p> <p>⑪の「新規就農等相談業務」は、新規就農者に対して農業全般の支援を行うものです。特に販路は大きな課題となるため、販路を含めた相談支援を今年度中に行う予定でございます。</p> <p>⑫の「新規就農者経営開始補助金」は、国の補助金で市が窓口になっているものでございます。</p> <p>3ページの⑬「農産物販売機管理運営事業」は、上尾市役所の正面玄関近くに設置いたしました農産物自動販売機でございます。8名の方がトマト、ナス、長ネギなどの農産物を販売しており、特に売上が高かったのはキウイフルーツでございました。継続して運営していく計画でございます。</p> <p>～説明者交代～</p>
事務局（商工課 今村）	<p>次に、国の物価高騰対応重点支援、地方創生臨時交付金を活用し実施した事業についてご説明いたします。</p> <p>⑭「中小・小規模事業者物価高騰等対策支援事業」と⑮「農業者物価高騰等対策支援事業」につきましては、昨年度に補正予算を計上し、今年度実施した事業となります。一律給付の支援金事業となります。</p> <p>⑯「小規模事業者等設備導入応援補助事業」と⑰「農業者燃料価格高騰対策支援事業」につきましては、今年度に補正予算を計上した事業となります。事業の実施は4月を予定しております。どちらの事業も補助上限額が高く、資金的な支援としては近年では実施していない規模の事業となります。⑯の「小規模事業者等設備導入応援補助事業」につきましては、設備導入による省力化・省人化・業務効率化の効果を最大限に発揮させるため、申請にあたり、中小企</p>

<p>事務局（商工課 今村）</p>	<p>業サポートセンターの専門家の相談を必須とし、また、経営力の強化を目指すため、導入後の専門家への報告も要件としています。令和7年度の提言であります「事業者のニーズに細やかに対応する施策の継続展開」として一步踏み込んだ支援ができると考えております。</p> <p>引き続き、4ページの「令和8年度の当初予算（案）に計上した産業振興事業」についてご説明申し上げます。</p> <p>こちらに記載している全13事業は、予算案として3月議会へ上程いたします。今年度から継続する事業につきましては、事業名の右側に【継続】、令和8年度からの新規事業につきましては、【新規】、内容を拡充する事業につきましては、【拡充】と記載させていただいております。</p> <p>ここでは、令和8年度の産業振興に向けた提言において、特に重要となる事業と新規の事業についてご説明申し上げます。</p> <p>①の「中小企業サポートセンター」でございます。これまでの「知識」と「資金」の支援を継続してまいります。特に、先ほど申し上げました相談が増加している補助金申請に係る伴走型の支援など、事業者が不得手としての分野への支援に力を入れてまいります。</p> <p>②の「SDGs×DX 促進補助金」でございますが、今年度まで実施している「SDGs 商品開発費補助金」と「DX 促進補助金」につきまして、申請状況に合わせて効率的に予算を執行するため、予算を統合することといたしました。SDGs 枠とDX 枠を用意し、合算で予算執行できるようになるため、事業者ニーズに応じた柔軟な予算の執行が可能となります。SDGs、DXともに補助率、補助上限額、事業スキームに変更はございません。</p> <p>③の「創業応援補助金」と④の「技能検定受検料補助金」につきましては、継続事業となりますが、補助率、補助上限額ともに変更はございません。ニーズが高い創業への支援、技術の向上と継承を図る技能士育成支援を継続してまいります。</p> <p>⑤の「販路開拓支援補助金」は新規事業でございます。「彩の国ビジネスアリーナ」や県外で開催される大型の展示会は、販路拡大において重要なビジネスチャンスです。しかし、出展に係る費用が高額になってきており、事業者の負担感が増している現状がございます。また、新ビジョン策定のために実施した事業者アンケートでは、売り上げ減少理由の1位が取引先の減少であったこと（50%）、経営課題解決に向け必要な取り組みについての質問では、約25%が新規取引先の開拓と回答していたことから、このたび当補助金の制度設計を行ったものです。出展への意欲、ビジネスチャンス創出のため、経費の一部を補助することで、販路拡大の支援を図りたいと考えております。</p> <p>⑥の「企業立地ニーズ調査」も新規事業となります。本市を取り巻く状況といたしまして、近年、上尾道路や圏央道など、交通利便性が向上する基幹道路</p>
--------------------	---

	<p>の整備が進み、以前にも増して企業立地への期待が高まっております。新ビジョン策定のために実施した事業者アンケートやヒアリングでは、市内での移転や事業拡大に向けた用地の確保が難しいとの声が多かったことに加え、市外からの企業立地施策を進めるにあたり、産業用地の候補が不足している現状がございます。このことから、本市の産業振興において、重点施策のひとつとして位置付け、今後はより具体的な施策の展開を検討する必要性があるものと捉えております。令和 8 年度は、企業立地推進に向けた第一弾の取組として、本市の企業立地のポテンシャルについて、客観的なデータを収集するため、首都圏を中心とした事業者に対し、アンケートとヒアリング調査の実施を予定しております。なお、事業の実施にあたりましては、庁内のまちづくり関連部署と連携し、アンケート内容の検討やアンケート対象事業者の選定を行ってまいります。</p> <p>⑦の「飲食店×農家のニーズマッチング事業」につきましては、今年度に引き続き、新たな店舗開発や商品開発に向け取り組んでまいります。</p> <p>次の⑧から⑬につきましては、農政課よりご説明申し上げます。</p> <p>～説明者交代～</p>
事務局（農政課 仲間）	<p>⑬の「農業者燃料価格高騰対策支援事業」でございますが、農業経営基盤強化促進法に基づき市が策定した基本構想に則した認定農業者や認定新規就農者である計 31 経営体に対して支援を行うものです。価格が高騰している A 重油・軽油・灯油を使っている対象者に対して補助するものでございます。申請期間は 4 月からを予定しております。</p> <p>4 ページの「令和 8 年度の当初予算(案)に計上した産業振興事業」のうち、⑧から⑫番までについては、今年度と同じように継続して取り組んでまいります。</p> <p>⑬の「農産物販売機管理運営事業」は拡充となりますが、先ほどご紹介した販売機につきまして、上尾駅の自由通路にも展開していくというものでございます。</p>
会長	<p>現在事業として実施しているものと来年度の事業の予定になります。まだ、予算は確定されておりませんが、自由にご意見・ご質問をお願いいたします。</p> <p>～意見なし～</p>
会長	<p>それでは、次の議題に移りたいと思います。議題 3「令和 8 年度提言書のアウトラインについて」、事務局から説明をお願いいたします。</p>

事務局 (商工課 今村)

それでは、資料2をご覧ください。

資料上段の「課題・意見要旨」の部分でございますが、前回の会議で、中小企業を取り巻く社会・経済情勢と課題について、事務局よりご提示いたしました内容と皆様から頂いたご意見の要旨をまとめたものを掲載しております。

事業者の経営面においては、インフレや利上げの影響により、事業コストが増大し、設備更新や資金調達への不安感が高まっております。また、働き方改革や賃金上昇の影響により従業員の待遇改善が求められている一方で、改善に伴うコストも増加しているのが現状です。消費者ニーズの変化に伴い、消費形態の変化や流通の加速が進んでおり、環境配慮型の商品・サービスも求められてきています。

雇用情勢については、労働者不足により人材の確保が難しい状況が続いており、人材の流動性も高まっています。また、後継者不足による廃業の増加が懸念されておりますが、事業承継に関する情報が事業者に行き届いていないと感じております。

議題2の実績でも申し上げましたが、本市においては、創業相談件数や創業支援施策の活用件数が増加傾向にあり、創業ニーズが高いと感じております。また、企業立地の推進に関しても、前述のとおり産業用地の掘り起こしが必要性を感じているところでございます。

新たな事業展開においては、データの分析や活用、オンライン販路の開拓などが求められている一方、必要な知識や導入コストの高さが障壁となっている状況がございます。また、省力化や業務の効率化に向けたAIやIoT技術の活用について、情報リテラシーの浸透が不十分である点も課題として挙げられます。

働き方改革や生活スタイルの変化によって、消費の対象が「モノ」から「コト」へ移行してきております。にぎわいづくりの施策の方向性についても、ストーリー性と情報発信力の重要なポイントであると考えております。

以上のことから、資料の中段でございますが「求められる施策」といたしまして、事業者の経営支援としては、財務など経営に関する数値や業務プロセス、人的資本について、経営実態の見える化を含めた経営計画の見直し・最適化のため、各々の分野に応じた専門家による伴走型支援を行うこと。就農を含む市内就業促進のための支援や、企業の魅力向上に対する支援、また、事業承継の必要性や重要性に対する気付きの機会の積極的な提供を行うこと。創業については、相談や資金面における継続的な支援を行うとともに、空き店舗活用と連動した施策の展開を行うこと。企業立地については、令和8年度に実施を予定している企業立地ニーズ調査に続く第2弾の取組として、ニーズに即した土地の有無について、現状把握を行うこと。デジタル技術の導入や技術革新に伴い必要となる知識の支援と資金の支援を継続すること。

	<p>農地やものづくり環境など、本市の資源を活用した体験型イベントの充実させること。にぎわいの創出に向け、中心市街地や各地域の拠点を活用した市内外からの集客を見込んだ魅力創出イベントを展開すること。</p> <p>以上を求められる施策として掲載させていただきました。</p> <p>これらを踏まえまして、提言（案）でございますが、「本市のポテンシャルの活用支援と魅力発信施策の展開」とさせていただきます。</p> <p>事務局といたしまして、令和8年度提言書のアウトラインに関し、下部の「議論のポイント」に書かせていただきました事項を中心に、現在の社会課題や当会議における意見要旨から導き出された【求められる施策】や【提言案】は妥当であるか、【求められる施策】から、どのような具体の施策が想定されるか、委員の皆様からご意見を頂戴したいと考えております。よろしくお願いいたします。</p> <p>議題（3）の説明は以上でございます。</p> <p>前回の会議におきまして、草加市の視察全般について事務局から報告をいただいております。今後の提言にも関わってくる部分になると思いますが、草加イノベーションまちづくりの視察結果を上尾市は取り入れていくのか、取り入れていくとすればどのように取り入れていくのかについて、ゼロからの議論になるかと思っております。大事な要素ということで皆様からご意見をいただく前に、事務局からあらためて草加イノベーションまちづくりについて説明をお願いいたします。</p>
<p>会長</p> <p>事務局（商工課 吉永）</p>	<p>「そうかりノベーションまちづくりについて」をご覧ください、当資料は、草加市が発行している</p> <p>①【そうかりノベーションまちづくり構想】</p> <p>②【SOKA RENOVATION MACHIDUKURI GUIDE BOOK】</p> <p>③【SOKA RENOVATION MACHIDUKURI MAP 2024】</p> <p>から資料を抜粋し作成しております。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>はじめに、「リノベーションまちづくりとはどのようなものか」についてですが、上段の説明文に記載されておりますが、「まちにある空間資源や歴史的資源、文化的資源、人的資源などを活用して、市民自らが、欲しい暮らしを実現し、まちの地域経営課題の解決も複合的に目指すことで、まちの新たな魅力創出を図る民間主導・行政支援のまちづくりの手法」となっております。</p> <p>その特徴としましては、「今あるものを活かし新たに使うことで、収益性が高さとスピードが早いこと」、「民間主導であること」、「空き店舗などの遊休不動産を活用して地域を活性化させること」、「補助金にできる限り頼らないことで、自立した経営基盤の構築を促すこと」が挙げられています。</p>

次に、草加市がリノベーションまちづくりを推進することになった理由でありますが、資料の下段にあります ①市民間、世代間、市民と学生におけるコミュニティの不足 ②公共不動産の利活用の必要性 ③都市型産業の不足 ④寝に帰るだけのまち 以上の課題を解決する方策として、リノベーションまちづくりをスタートさせました。

東京のベッドタウンとして繁栄してきたものの、「市内で楽しむ場所がない」、「家があるだけでまちに愛着がない」、「職場も買い物する場も遊ぶ場もすべて市外」という市民が多く、「寝に帰るだけのまち」となっていたという状況を改善することが目的となっております。

3 ページをお願いします。下段の「そうかりノベーションまちづくり構想の位置づけ」をご覧ください。下から4行目から記載されておりますが、そうかりノベーションまちづくり構想は、総合戦略及び産業戦略の主要施策として位置付けられ、構想の具現化を目指して取り組んでおります。

4 ページをお願いします。資料上段、「対象地域」の一番上の「・」をご覧ください。リノベーションまちづくりでは、複数の事業を狭い地域に集中して、かつ短期的に展開することで、地域の変化を実際に感じてもらう必要があります。地図の右側に記載されている「スモールエリアの考え方について」をご覧ください。対象地域には、旧道沿道を中心に、市役所や地域の核となる箇所を念頭に置きつつ、リノベーション案件の集積可能性や周辺に対する波及効果なども考慮し、モデル地域を設定しております。また、資料下段の「構想の実現の仕組み（プロセス）」ですが、「そうかりノベーション協会」、「不動産オーナー」、「事業オーナーや市民」、「市」が構想の実現に向けて、それぞれ役割を担い、リノベーションまちづくり構想の実現を目指しております。

5 ページをご覧ください。リノベーションまちづくりのエンジンである「リノベーションスクール」についての説明となります。まちなかに実在する遊休不動産や様々な地域資源を活用してエリアの価値向上、地域経営課題の解決につながる事業及びプロジェクトの創出を目指す短期集中の実践型スクールです。これまで計7回開催されております。

続く6ページの下の方をご覧ください。リノベーションスクールの一連の流れを図示しております。3日間の実践型プログラムとなりますが、1日目、2日目では、対象エリアや対象案件を巡り、地域の人や不動産オーナーの話を聞いたり、まちの魅力や課題を探るまち歩きを行ったり、ビジネスの方向性の設定やプランの組み立て・検討などを行います。3日目の最終日は、地域の方々や不動産オーナー向けに事業化を前提とした公開プレゼンテーションなどを行います。その後、さらに講師によるアフターフォローも入り、プランがブラッシュアップされ実事業化に至ることとなります。

	<p>7ページをご覧ください。草加市では、リノベーションまちづくりのさらなる展開として、「そうか未来会議」を開催しています。こちらは、スクールを修了し、草加で活躍している方や、リノベーションまちづくりの関係者が集まり、まちの新たな魅力創出につながるプロジェクトを検討する内容となっております。</p> <p>8ページをお願いします。「そうか未来会議」では、新たなお土産や、ゆるやかに多くの人に関われるコンテンツが考案されるなど、具体的なまちの活性化案が検討されています。</p> <p>最後になります、9ページをご覧ください。</p> <p>リノベーションまちづくりを推進した結果、生まれた店舗のマップ、そして、リノベーションまちづくり推進の変遷となります。</p> <p>リノベーションまちづくりをきっかけとして、遊休動産の活用から始まり、そこで新たに構築されたコミュニティを活かし、現在では人と人の連携によるソフト面での新たな魅力の創出にもつなげております。</p> <p>本市におきましても、空き店舗の活用について、この視察で得た情報・ノウハウを本市のまちの特性に合わせ、具体的施策の立案に活かしてまいりたいと考えております。</p> <p>そうかりノベーションまちづくりの説明は以上でございます。</p>
会長	<p>それでは、それぞれのご意見を自由にお願ひします。</p> <p>松本委員、お願いいたします。</p>
松本委員	<p>産業振興ビジョンが冊子になったら、必要な人に情報を届けるため、金融機関などに置いていただければと思います。</p> <p>また、助成金や補助金の情報を十分に浸透させるためにも、提供者と受け手がうまくマッチングできるような媒体があると良いと思います。</p>
会長	<p>情報提供とマッチングですね。中小企業サポートセンターもありますが、ウェブを活用していくということも大事かなと思います。</p> <p>それでは、大木委員、お願いいたします。</p>
大木委員	<p>多様な補助金があって良いと思いますが、利用したくてもハードルがあり、クリアが難しいという部分も若干感じます。ハードルを下げただけであればありがたいなと思います。</p> <p>情報については、一般市民にどれだけ伝わっているか不安があります。当会議の情報に関しても、広く伝えるにはどうすればよいかなと思っております。</p> <p>また、現在、上尾駅周辺にはコミュニティホールがありません。求められる施設についても検討してはどうかと思います。</p>

会長	<p>まず、制度利用のハードルを下げるといことですね。寄り添いながら適したものを制度設計していく伴走型が重要だと思います。</p> <p>そして、情報リテラシーの問題については、様々な広報媒体を上手に活用していくことが必要だと思います。</p> <p>それから、コミュニティホールなどのハード事業については、その効果をしっかり検証した上で、必要なものについては進めていくことが重要であると思います。</p> <p>様々な財政上のハードルはありますが、しっかりと議論して検討する必要があるかなと思います。</p> <p>それでは、神田委員、お願いいたします。</p>
神田委員	<p>アグリ女性といえば小麦まんじゅうというくらい、あげお産業祭における小麦まんじゅうの販売は、私達の一大事業でした。公募して参加者を集めたり、串ぎょうぎに挑戦してみたり、おまんじゅうづくりを広く知ってもらうための活動を続けているところです。</p> <p>飲食店とのマッチングについては、私達も興味があります。適宜参加したいと思いますので、引き続き進めていただきたいと思います。</p>
会長	<p>食のブランド化も大事で、一つの団体だけではできないということがあるので、上尾のブランドづくりに連携をしていく視点が大事だということご指摘かと思ひます。</p> <p>それでは、五十嵐委員、お願いいたします。</p>
五十嵐委員	<p>企業が存続するためには、時代の流れとともに変化していかなければいけません。事業承継も含めて変化する際に、様々なストレスがかかってくるので、そこを行政に補助していただくということが非常に大切なのかなと思ひます。その一つが補助金でもあると思ひますが、先ほど話に出たように、ハードルを下げるといことも非常に重要なのかなと思ひます。</p> <p>また、補助金の設計にあたっては、企業の課題とよりマッチさせることが重要なのかなと思ひます。</p>
会長	<p>様々な変化に対するストレスですね。これを低減するには、やはり伴走型で企業に寄り添い、課題に合わせたものを制度として有効活用していくことが大事だといことですね。補助金についてもニーズをしっかりと把握して、必要なものは残していく、精査していくといことですね。</p> <p>それでは、幸物委員、お願いいたします。</p>

幸物委員	<p>特に修正点はありません。色々盛り込んでいただいてありがとうございました。</p> <p>設備投資については、国でも大型の設備投資予算をご用意していますが、倍率が高く資金が行き届かない、あるいは、賃上げの条件なども結構厳しいため、このような思い切った設備投資事業を追加予算で実施していただくことは、大変ありがたいと思います。</p> <p>先ほど、草加リノベーションまちづくりの中で、市民参加についてのお話がありました。具体的な取組みについては、当会議のような場で行政や関係者が議論して方向性を決めていくことは必要だと思いますが、主役は当然市民、事業者、あるいは農業者であると思います。</p> <p>色々な課題が出てきたときに、ポイントを一つ一つ、スクールの運営などのソリューションにつなげてしまうと、リソースが足りなくなるという話もございます。私達を含めて様々なところと上手に連携しながら、進めていただくと良いと思います。</p> <p>施策の運用について、一つ一つソリューションを提供するだけではなく、同じ悩みを持つ者同士で相談し合ったり、自助努力を促すようなコミュニティづくりが重要ではないかと思います。事業の取組みについて自らの力で色々な課題を解決していける、高め合っていける、そのような施策の相乗効果のような部分を狙っていく運用があると、各プランの実効性向上が期待できるかなと思いました。</p>
会長	<p>共同の話がございました。大きな事業としては中小企業高度化事業がありますが、小さな企業が産業コミュニティをつくり、それをサポートするような具体的な制度やイメージはございますでしょうか。</p>
幸物委員	<p>一つ一つの政策目的によると思いますが、グループで連携しながら研究開発や商品開発、あるいは、ハードウェアを整備していくような制度は国にもございますが、草加で市民の皆さんが参加されている協議体というものは、一つのヒントになるかなと思っています。例えば、組織体や協議体に参加していないけれども、まちのにぎわいづくりに期待する若い人達に対して、彼らの声をどうやって吸い上げていくのかなど、物事を進めていくプロセスのところにも着目すると、施策の効果があるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。草加のリノベーションまちづくりにおける草加市の立ち位置が参考になるかもしれないですね。</p> <p>それでは、大澤委員、お願いいたします。</p>

大澤委員	<p>消費が「モノ」から「コト」に移っているという話がありましたけれども、例えば、上尾には工業なら工業の歴史、商業なら商業の歴史があります。そのような歴史が分かる拠点があるといいなと思います。歴史の他にも上尾にはこのような事業所がこの場所ある、この場所ではこのような農作物が生産されている、などの情報も加われば、ストーリー性が生まれるのかなと思いました。新たに箱物をつくるということは難しいと思いますが、例えば上尾駅の近くのワンフロアなどを活用できれば、市内外に情報発信できると思います。</p> <p>また、本市のポテンシャルの活用支援ですが、SWOT の分析での強みを発信していければ良いと思います。市内だけではなく、上尾市外にも魅力を発信していければ、素晴らしい上尾になるのかなと思いました。</p>
会長	<p>二つのご指摘がございました。</p> <p>一つはストーリー性の話です。製造業や農業など、観光以外の分野も魅力発信においては大事なかなと思います。また、拠点をつくることの効果や既存の資源を有効活用することについても検討していく必要があるかなと思います。</p> <p>それから、ポテンシャルとなる地域資源についても、色々活用して発信していくことは大事だと思います。</p> <p>それでは、鈴木委員、お願いいたします。</p>
鈴木委員	<p>令和7年度のSDGsとDXの補助金を見ますと、予算に対して各々まだ枠が余っているようです。SDGsやDXという言葉は知っていても内容を説明できない事業者が大部分かなと思います。今まで以上に、意味やどういったことに取り組んでいくかについて知っていただく機会をつくることも非常に重要なと思っています。銀行としても、そのような取組みを積極的に進めていきたいので、補助金利用の活性化を含めて、ご協力させてもらいたいと思います。</p> <p>その他、新ビジョンの基本方針として掲げている「魅力とにぎわいの創出」についても連携していければと思います。</p>
会長	<p>SDGsなどは社会課題の解決になるかなと思いますが、これを企業が活用すると、どのようなメリットがあるのかということですね。社会課題の解決やボランティアは大事ですが、それだけでは企業は取り組めないということもあるかなと思います。</p> <p>魅力とにぎわいの創出につきましては、密に情報を交換しながら、ぜひ協力して進めていただけたらと思います。</p> <p>それでは、安藤委員、お願いいたします。</p>
安藤委員	<p>にぎわいの創出について、新ビジョンには誰がどう動くかについて書かれていないので、実現するためにどのように進めていくのかが気掛かりです。</p>

補助金はありがたい制度だと思いますが、例えば、農業関連の補助金であれば、農業で暮らせるだけの規模の補助が必要ではないかと思っています。農業を重点項目にして、地産地消のまちを推進していくのであれば、プラクティカルな政策が必要だと思います。付加価値があり、ストーリー性があれば手に取っていただけると思うので、例えば、試食付きで販売するなど、盛り上げるための工夫の必要性を感じました。

産業も地産地消にしたいという気持ちは分かりますが、都内に働きに行くのは、給料や社会保障制度が良いからであり、その部分を上尾が上げられないとしたら、上尾で暮らす付加価値がなければならぬと思います。生活基盤を支える社会産業がしっかり存在し、そこに生き甲斐が加われば、より暮らしやすさにつながるのかなと思います。

また、熊谷市では星川夜市を開催していますが、上尾市でもぜひやってほしいなと思っています。盛り上げとして農業も商業も出ていますし、大学生や高校生を巻き込めると良いと思います。

スポーツの振興では、上尾にゆかりのあるオリンピック選手や埼玉上尾メディックスなどの地域資源を掘り起こして、みんなで盛り上げていけたらと思います。

他に、小川町の取組みも参考にしてほしいと思います。有機農法であったり、まちを歩いていると素敵な絵本屋さんがあったり、手づくりのお店があったりとお洒落なので、上尾駅前にもそういうお店があるとまちとして素敵だなと思います。

会長

熊谷市の星川夜市のように、にぎわい創出をしっかりと進めていく必要があるのではないかということです。富山県高岡市は、鋳物など文化的なものを活用して地域の人達が主体的にイベントにされていて、その活動を行政がサポートしています。行政主導にとらわれず、民間や市民の様々な取組みを、行政がいかに連携・サポートしてかたちにしていくのかということです。これからの大きな課題かなと思います。

それでは、市倉委員、お願いいたします。

市倉委員

県内で草加市のリノベーションスクールと同じような事例や取組みでいえば、本庄デパートメントや北本団地リノベーションプロジェクトなどがあると思います。

草加市と上尾市は、人口構成は似ていますが、実際のまちの雰囲気は全く違うと思います。上尾は商圈として成り立つので、事業者が立地先として選んでいるという印象があります。すでに上尾市内でも、駅周辺や駅から少し離れた場所で、古民家や空き店舗をリノベーションした小さなお店やカフェができています。リノベーションまちづくりは、一見すればすごく素敵でインパクト

	<p>がありますが、今の上尾市に果たして必要なのかなという印象を持っています。新ビジョンにも書かれている空き店舗バンクなどの仕組みが整えば、空き店舗の活用は自ずと進むのではないかなという感じがします。実際に、草加市や本庄市の話聞いてみると、きっかけづくりはしてもらえらるけど、実際にお店を出したがなかなか集客できない、売上が立てられないというところが課題になっているようです。事業者がしっかりと稼げるようなサポートをすることが、とても大事なところかなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>草加市のリノベーションまちづくりの資料がありますが、行政が場づくりをして立ち上げた企業もあり、それに賛同し参加した事業者もいるようですね。事業者が自主的に進めていくところが望ましいかたちかなと思います。</p> <p>空き店舗バンクはとても大事なキーワードで、上尾市は自主的な取り組みが進められるポテンシャルをしっかりと持っているということだと思います。</p> <p>それでは、坂田委員、お願いいたします。</p>
<p>坂田委員</p>	<p>草加市のリノベーションまちづくりについて、このフォーマットは10年以上の蓄積があった上で出来上がっているものと理解しております。上尾市には上尾市に合ったまちづくりの方法があると思いますので、行政と市民の皆さんが一緒になってまちづくりができると良いかなと思いました。</p> <p>また、農業の補助金については、市、県、国以外に農協さんにもございます。農協さんにもご協力いただきながら周知し、上手に活用できると良いと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>行政と市民の協働によるまちづくり、また、経済団体との連携は非常に大事ですね。</p> <p>それでは、栗原オブザーバー、お願いいたします。</p>
<p>栗原オブザーバー</p>	<p>提言書のアウトラインに記載されておりますが、事業承継に関する情報が事業者に行き届いてないというところで、現在、商工会議所では、県の事業承継引継支援センターにご協力いただき、商工会議所での出張無料相談会の実施に向けた準備をしております。この相談は、親族内承継、役員・従業員承継、第三者承継でのM&Aなどを想定しており、M&Aについては、売り手側だけではなく、買い手側の相談も受けることを想定して進めております。</p>
<p>会長</p>	<p>事業承継についての情報提供でございました。</p> <p>それでは、藤田委員、お願いいたします。</p>

藤田委員	<p>来年度からほこみち制度の活用が始まります。条件が整えば熊谷市のようなイベントを開催できる可能性がありますので検討していきたいと思えます。また、農業については地産地消を進めていくことと、地域の認証制度を検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 それでは、飯田副会長、お願いいたします。</p>
副会長	<p>私も草加市に視察に行つてまいりましたが、やはりまちの顔といわれる商業は目立つと思えました。草加市は計画時から欠点を埋めることに注力したことが大きなポイントかなと思えます。本市も見える部分は着実に進め、先を見据えた部分は当会議で協議してまとめていければ良いのかなと思えます。</p>
会長	<p>私から提言についての提案です。新ビジョンが策定されますので、ビジョンにおける各施策と紐付けていくことを明記していくと分かりやすいのかなと思えます。</p> <p>本日はたくさんのご意見をいただきました。事務局で少し整理をしていただいて、次回の会議につなげていただきたいと思います。</p> <p>以上で議事を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。</p>
事務局 (商工課 吉永)	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他でございますが、事務局より3点ご報告いたします。</p> <p>1点目は本会議の設置基準についてでございます。本会議は平成26年に産業振興を支える協議体として、柔軟かつ機動的に運営するために要綱による設置としてまいりました。しかし、本会議がビジョンの推進体制の核となり成熟してきたこと、また、この度ビジョンを改定することに合わせ、条例による設置に移行したいと考えております。3月議会に上程し、4月より条例設置による会議運営を予定しております。</p> <p>なお、委員構成でございますが、現在19名の定数につきまして、他自治体の委員構成も勘案し、14名とする予定でございます。委員構成の変更については、金融機関や市民団体を考えております。また、市職員につきましては、事務局として会議に参加するよう変更したいと考えております。</p> <p>2点目は条例設置に関連して、委員の2年の任期が来月末をもちまして終了いたします。新年度に入りましたら、各機関・団体様に委員の推薦についてご連絡させていただきます。引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。</p> <p>3点目でございますが、次回の会議は年度明けの5月中旬を予定しております。詳細につきましては、新たな委員が決定した後に、各委員へご連絡いたします。よろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>最後となりますが、1点ご報告させていただきます。本日の会議を持ちまして、河藤会長が当会議をご退任されることとなりました。これまで、産業振興ビジョンの策定をはじめ、当会議の設立、中小企業サポートセンターの創設など、本市における近年の産業振興の基盤整備に多大なるご尽力を賜りました。誠にありがとうございました。</p> <p>河藤様よりご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>
会長	<p>皆様、本当にお世話になりました。私は、2012年の産業振興ビジョンの策定段階から関わらせていただき、約13年半に渡りお世話になりました。私にも退職の時期が見えてきました。上尾市につきましては、新たなビジョンが出来上がり、新しい取組みをスタートしていくという区切りの良いこの時期で退かせていただくということでございます。</p> <p>私は現在大学に勤めておりますが、それ以前は大阪府の行政職を勤めておりました。産業とまちづくりに関する現場の仕事を多く経験させていただく中で、八尾市の産業振興の担当理事として出向する機会をいただきました。八尾市の産業振興会議がちょうど立ち上がった頃で、産業振興の分野における事業者や市民参加の実現において、非常に有効な方法だなと感じておりました。</p> <p>その後、大学に勤め始めた中で、上尾市さんからお声掛けをいただいたという経緯がございます。</p> <p>13年半の中には中小企業サポートセンターの創設もありました。この取組みの素晴らしいところは、行政と商工会議所の共同事業として実施していることです。行政と商工会議所の連携が必要だということは皆分かっているのですが、実際に連携するのはなかなか難しいことで、これが実現できたことは、とても素晴らしいことだと思っています。</p> <p>上尾市は産業振興会議を核として、市民と事業者にしっかりと根を下ろした産業振興を進めているという意味でのトップランナーだと思います。</p> <p>また何かありましたら、できることは協力させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に副会長から閉会のご挨拶をお願いいたします。</p>
副会長	<p>～挨拶～</p> <p style="text-align: right;">以上</p>